

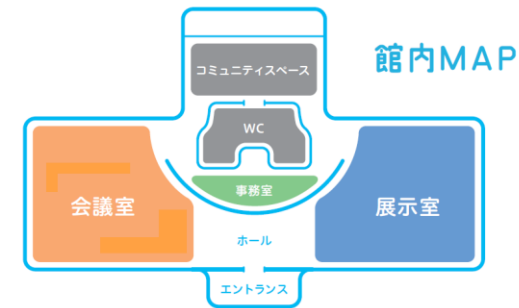
○「リプルンふくしま」の目的

- 当施設は、特定廃棄物の埋立処分事業の開かれた情報発信の一環として設置したもの。
- 特定廃棄物埋立処分事業の内容や安全を確保するための取り組み、処分の進捗状況やモニタリング結果などの最新の情報を公開することで、地元の方々の疑問や不安などの軽減や安心の確保に資するとともに、広く県内外の方々に対して事業の安全性についての理解を促進し、風評被害を払しょくすることを目的としている。
- 施設内には、展示室と会議室があり、来場者が実際にモニタリングを体験できるフィールドが隣接。

施設の立地場所と館内の構成



住所：双葉郡富岡町大字上郡山字太田526-7
 開館時間：9:00-17:00（休館日：月曜）
 ※祝日にあたる場合は開館し、翌平日休館、年末年始。



○名称・ロゴについて

施設の名称について一般公募を行い（応募総数295作品）、選考の結果「特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま」を施設名称として決定。（「Re-produce（リ・プロデュース）」という、再生・復興への想いが込められた名称。）

また、施設名称を基にロゴマークもデザイン。（環境再生の始まりとなる「タネ」や復興に向けて歩む「足跡」がコンセプト。）



運営実績（12月末現在）

来館者累計 8,242人（平均76人/日）

処分施設見学者数 943人

来館団体数 173団体（団体見学者数 2,118人）

これまでの歩み

■ 開館式（8/24）

- 富岡町、楡葉町の両町長、議長及び議員、福島県生活環境部長、環境副大臣、環境安全委員会委員等ご列席の下、開館式を開催。
- リプルンふくしまの命名者を表彰。

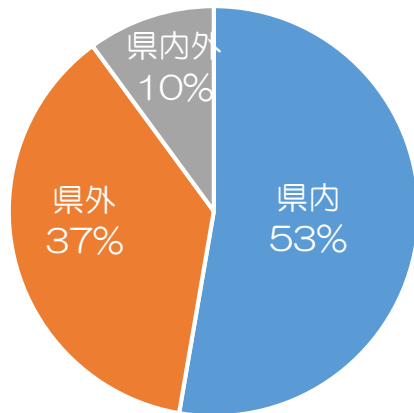


■ 累計来館者延べ5,000人達成（11/10）

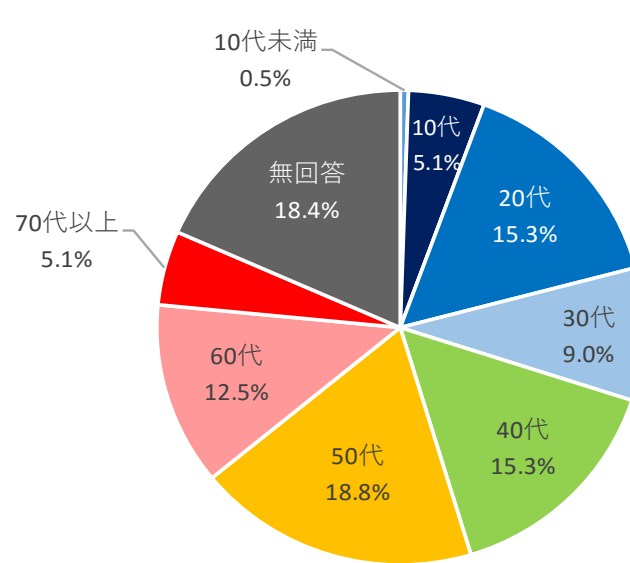
- 5,000人目は、東京から来館されたご家族。
- 同日開催の富岡町「えびす講市」の環境省ブース見学後にリプルンに来訪し、リプルン及び処分施設をご見学。
- 記念にモニタリングフィールドにクヌギを植樹



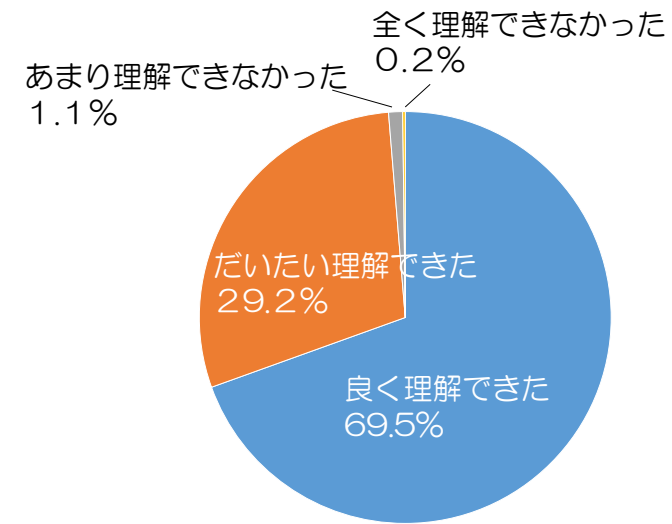
来館者の状況



団体見学の内訳（どこから）



アンケート回答者の年代比（N=554）



展示物の理解度（N=554）

校外学習プログラムの策定

- ・ 来年度以降の校外学習による学生・児童の来館につなげるため、校外学習プログラムを策定し、学校関係者と調整中。
- ・ 施設内の展示見学、敷地内でのモニタリング体験、埋立処分施設の見学、技術体験教室及び自然実験教室を組み合わせたプログラムを提案。

